潤番田・古屋敷遺跡発掘調査の成果について

糸島市教育委員会文化課

潤古屋敷遺跡

1．調査面積　1,500㎡

2．主な時期　弥生時代、平安時代(9～11 世紀代)、鎌倉～戦国時代(13～15 世紀代)

3．主な遺構　住居跡(弥生時代)、大溝(鎌倉～戦国時代)、井戸(鎌倉～戦国時代)、溝(弥生～鎌倉時代)、柱穴多数

4．調査成果　潤古屋敷遺跡からは、大溝１条、溝４条、井戸７基、柱穴多数などが検出されました。遺物としては、下駄などの木製品、輸入された陶磁器、土師皿などの生活雑器、多量の弥生土器などが出土しています。

5．大溝について　潤古屋敷遺跡から検出された大溝は幅約５～６m、深さ約２mを測る断面がＶ字形の溝です。今回の調査ではコーナー部分を確認していないため、南北方向にさらに伸びる可能性があります。これは区画のための溝と考えられ、大溝内部には屋敷があったと考えられます。その出土遺物から、鎌倉時代(13 世紀代)に形成され、戦国時代(15 世紀代)に埋められたことがわかります。東風小学校の調査の際にも同時期の大溝が検出されており、また、潤大山遺跡から同時期の道路状遺構も検出されていることからも今後の周辺地域の調査結果に期待がかかります。

6．耳皿について　潤古屋敷遺跡からは特殊な遺物として、耳皿が出土しています。この耳皿は９～10 世紀にかけて作製された箸置きと考えられています。耳皿が出土するのは大宰府、国・郡の役所、駅家などに限定されていることから、当該遺跡周辺にも役所などの公的施設があったと考えることができます。

7．地名との関係　「潤」の地名は 12 世紀初頭から 15 世紀初頭にかけて存続した「怡土庄」の遺称地名です。この怡土庄には「地頭」が設置されており、潤古屋敷遺跡で確認された大溝がその屋敷跡の一部であると仮定すると、隣接する東風小学校所在地の字名である「潤地頭給」の由来をひもとくヒントになるかもしれません。今後の周辺地域の調査・研究に期待がかかります。

潤番田遺跡

１．調査面積～1500㎡（10m×150m）

２．主な時期～弥生時代（甕棺）、中世（その他の遺構）

３．主な遺構～甕棺墓１、大溝１、溝多数、方形区画溝２、井戸７基、柱穴多数

４．調査成果～潤番田遺跡は潤地頭給遺跡（現東風小学校）に隣接するため、調査前は弥生時代～古墳時代の遺構が確認されると想定されていましたが、今回の調査区では中世（鎌倉・室町時代）の遺構が中心となっています。

まず、調査区の南側で確認された大溝は幅５m、長さ 10m+αで、東西方向に延びています。北側の潤古屋敷遺跡の大溝とよく似た規模ですが、距離が 100m以上離れており、今回の調査では繋がる溝とは確認できませんでした。

また、潤番田遺跡では、井戸が７基確認されており、土器や陶磁器のほかに、水漬状態の木製品が多数出土しています。特に下駄の出土数が多く、中には子供用の下駄も確認されています。また、６号井戸からは茶道で用いる風炉も出土しており、この近くで茶の湯を嗜む人がいたことも分かります。

陶磁器は龍泉窯青磁を主体としつつ、白磁や高麗青磁も出土しています。特に本市では高麗青磁の出土例が量的に少なかったため、貴重な事例と言えるでしょう。現在、整理中ですが壺や碗が確認されています。

また、糸島市で２枚目の当十銭（崇寧重宝 1102 年鋳造）や懸仏が出土していることも注目されます。

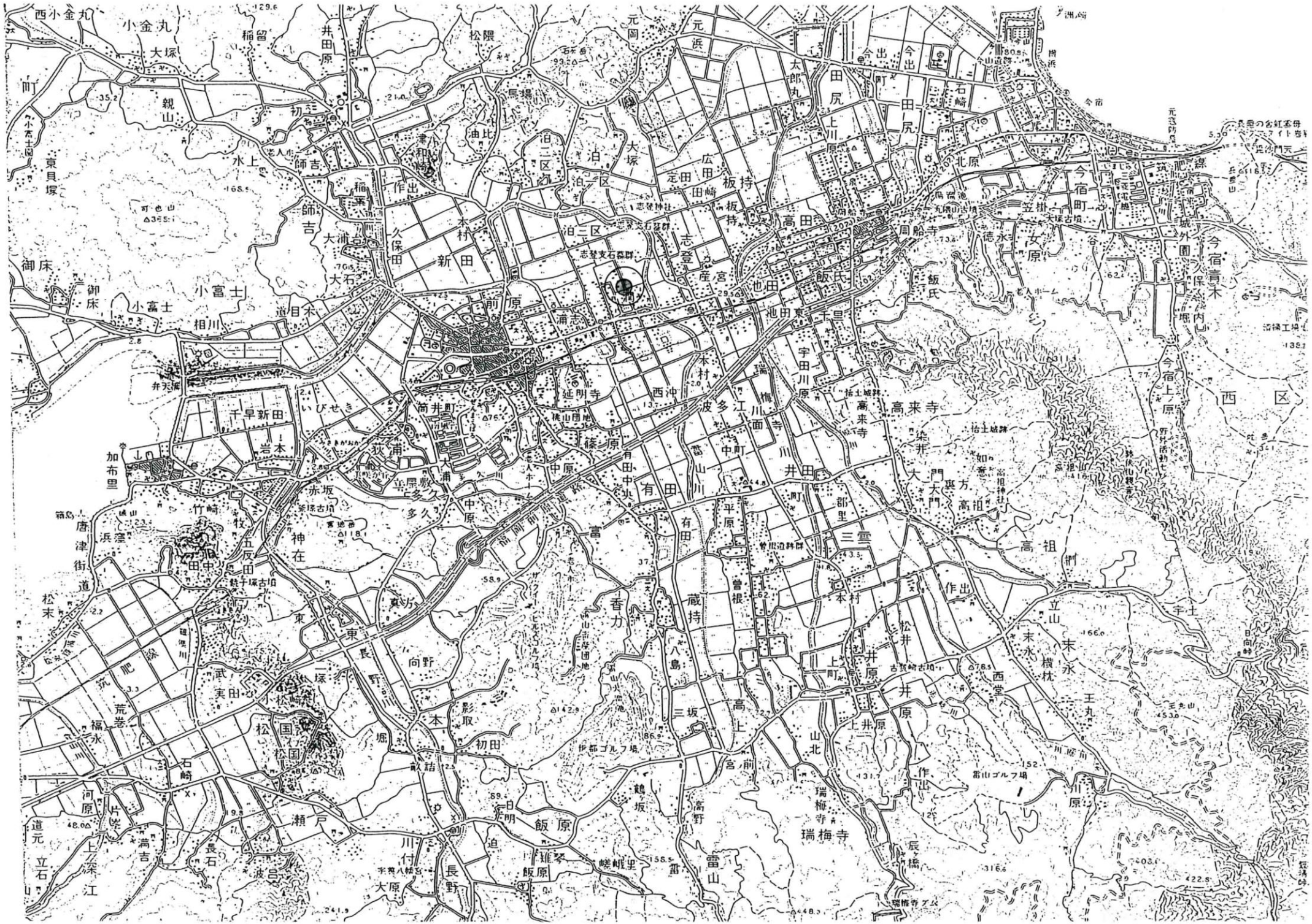
このように今回の調査では鎌倉・室町時代の人々の暮らしぶりの一端が明らかにされたことが注目すべきところといえます。

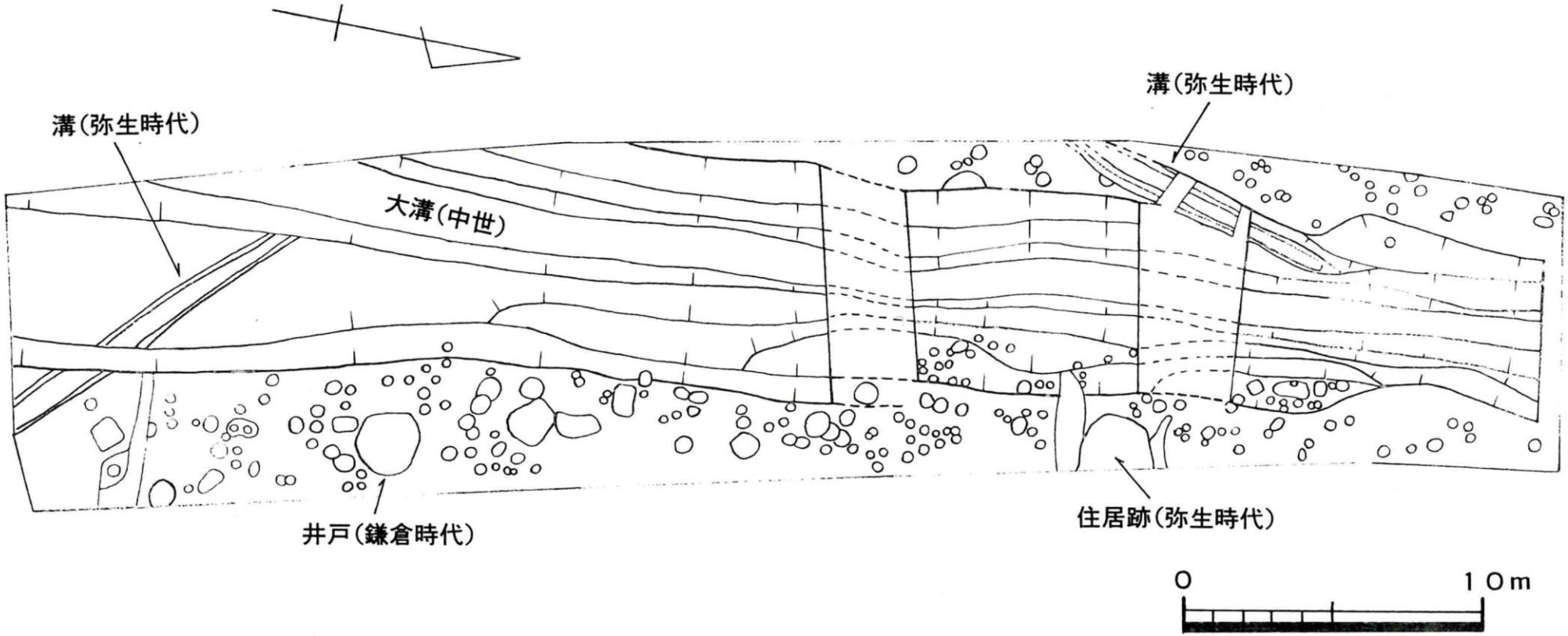
【用語解説】

・懸仏～銅や鉄で鏡板から像まで鋳出したり、円形の金属の薄板を木板にかぶせ、これに鋳出の像を取り付けたものもある。肩に付けた金具を利用して柱や壁にかけて礼拝したとされる。鎌倉時代から近世初頭にかけてのものが多い。

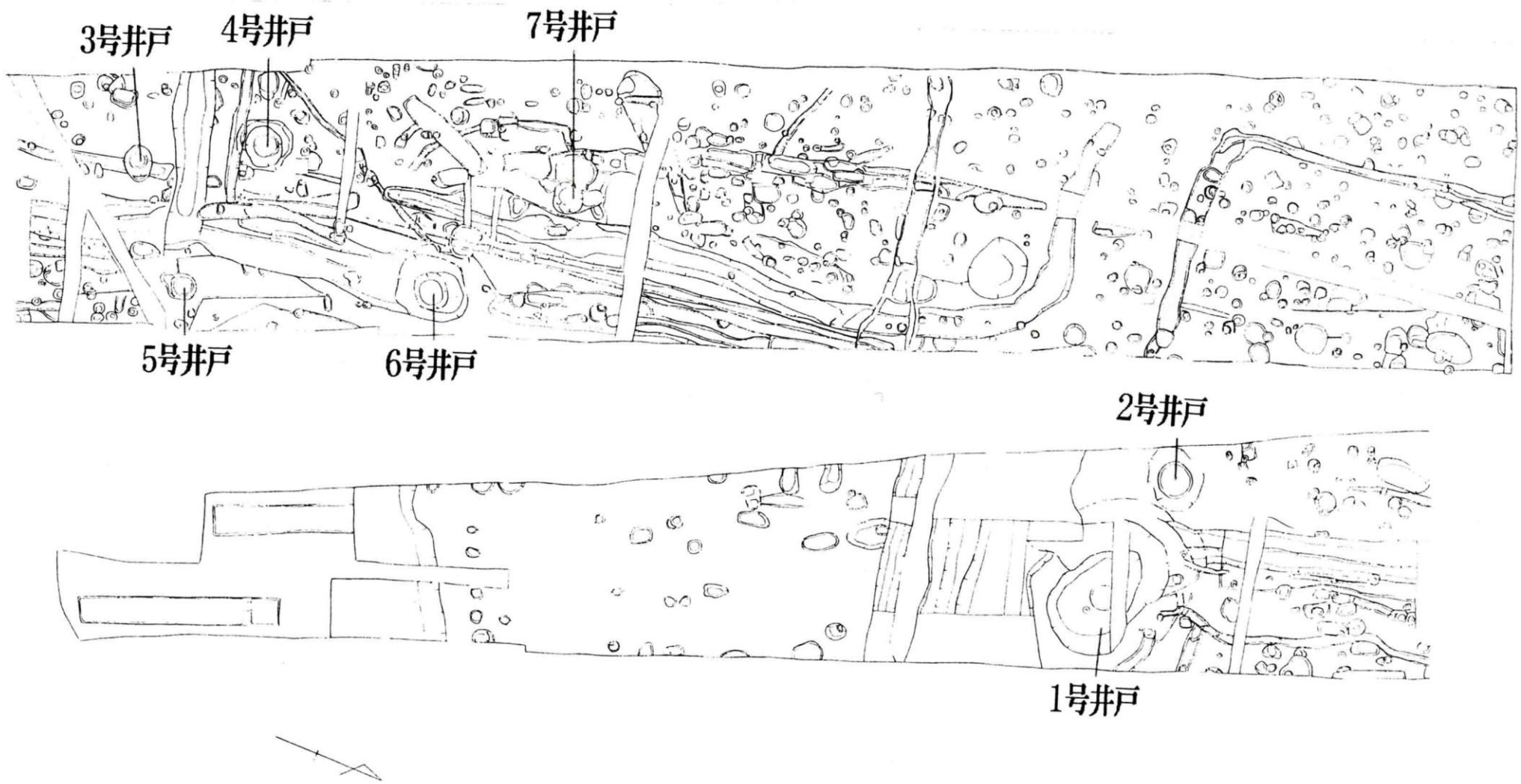
・当十銭～一枚で 10 枚分の一文銭の価値を持つ銭のこと。一文銭よりふた回りほど大きいが、重量は３・４倍のことが多い。基本的に日本では流通しないとされる。崇寧重宝は国内で 200 枚程度出土しており、最も出土例の多い当十銭である。

・風炉～茶道で茶釜を火に掛けて湯を沸かすための炉。銅製、鉄製、土製、木製などがある。


西小金丸
小金丸
大塚
稲留
井田原
松限
元岡
元浜
今出
今出
町
田尻
田尻
石崎
今宿
長垣の玄武岩母
ライト岩
筑肥線
今宿町
今宿青木
今宿上原
西区
城外園
久保内
女原
笠掛
大塚古墳
周船寺
徳水
飯氏
飯氏
池田
池田東
千旦
宇田川原
瑞梅寺川面
高来寺
高来寺
染井
大門
大門
裏方
高祖
高祖
三雲
作出
本村
立山
末永
末永
横枕
王丸
西堂
井原
井原
上井原
松井
古賀崎古墳
富山ゴルフ場
川原
瑞梅寺
瑞梅寺
瑞梅寺ダム
辰橋
山北
作出
宇土
日向峠
長野
雷山
高野
鶴坂
嵯峨里
飯原
雑琴
飯原
白明
迫
川付
大原
長野
波呂
長石
満吉
上深江
立石
道元
瀬戸
河原
片峯
福永
荒巻
筑肥線
唐津街道
松末
箱島
浜崎
竹崎
牧
五反田
田中
神在
赤坂
多久
多久
辛屋敷
大浦
荻浦
千早新田
岩本
加布里
井天塚
いびせき
尚井町
延明寺
桃山団地
篠原
中原
有田中央
有田
有田
富
真方
東
東長野
向野
二塚
武
実田
小松崎
松国
松国
影取
本
堀
献詰
初田
宮前
高上
三坂
八島
蔵持
香力
曽根
曽根遺跡群
平原
部里
波多江
中町
蓮山川
西沖
本村
浦志
前原
新田
本村
久保田
大浦
大石
師吉
師吉
稲葉川
作出
泊二区
泊二区
泊二区
泊
大塚
長塚
比
油
小和崎
水上
初
親山
京貝塚
小富士園
小富士
御床
御床
相川
道目木
志登
志登支石墓群
産宮
定田
広田
板持
板持
田崎
高田
志登神社
石墓群
丸隈山古墳
伊都ゴルフ場
可也山
△365.5
△168.5
△129.6
△35.2
△21.0
△93.2
△80.8
△116.5
△62.4
△77.1
△138.2
△116.0
△166.0
△152.0
△453.0
△403.0
△422.9
△448.3
△316.6
△241.9
△142.9
△76.5
△44.8
△118.1
△58.9
△86.9
△131.7
△155.5
△89.0
△48.0
△9.8
△12.5
△3.3
△2.2
△2.8
△2.4
△2.0
△13.7
△29.5
△20.2
△5.5
△3.5
△3.7
△5.3
△5.0
△6.2
△7.3
△7.6
△3.1
△2.7
△1.2
△1.9
△2.1
△2.3
△2.0
△1.5
△1.0
△0.9
△0.8
△0.7
△0.6
△0.5
△0.4
△0.3
△0.2
△0.1
△0.0
△-0.1
△-0.2
△-0.3
△-0.4
△-0.5
△-0.6
△-0.7
△-0.8
△-0.9
△-1.0
△-1.1
△-1.2
△-1.3
△-1.4
△-1.5
△-1.6
△-1.7
△-1.8
△-1.9
△-2.0
△-2.1
△-2.2
△-2.3
△-2.4
△-2.5
△-2.6
△-2.7
△-2.8
△-2.9
△-3.0
△-3.1
△-3.2
△-3.3
△-3.4
△-3.5
△-3.6
△-3.7
△-3.8
△-3.9
△-4.0

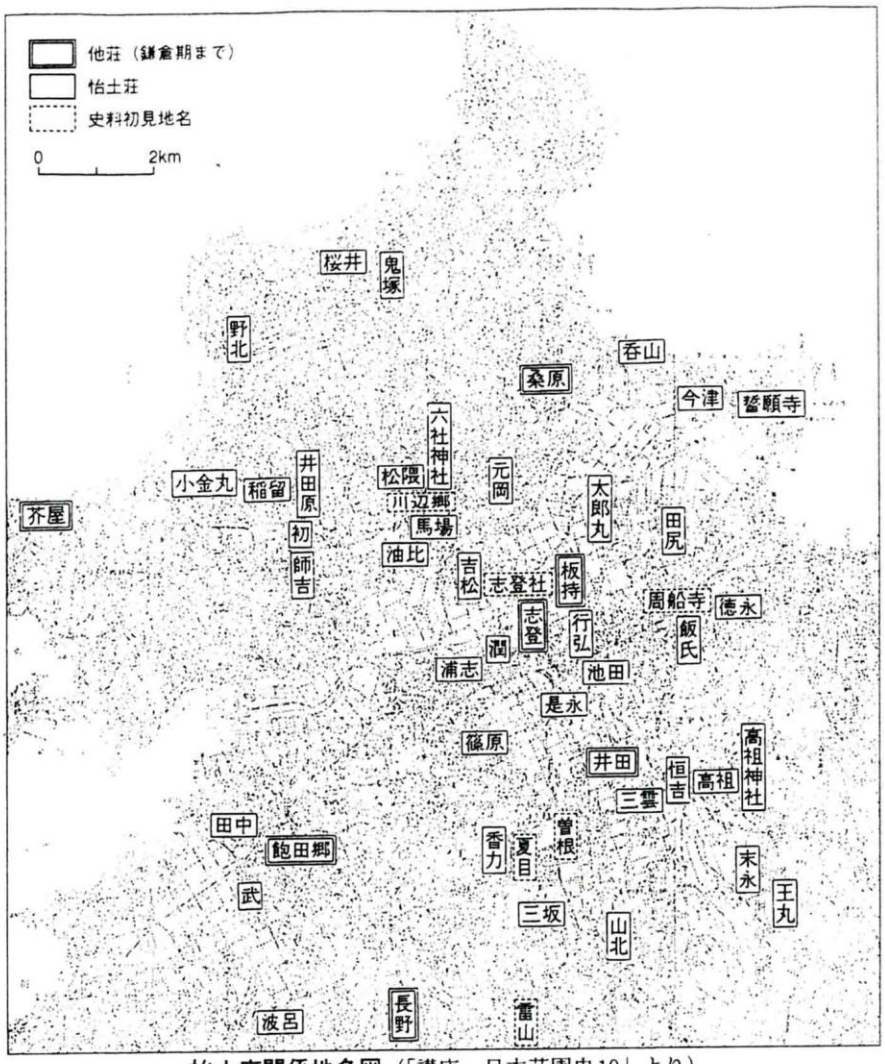


潤古屋敷遺跡１区（1/200）

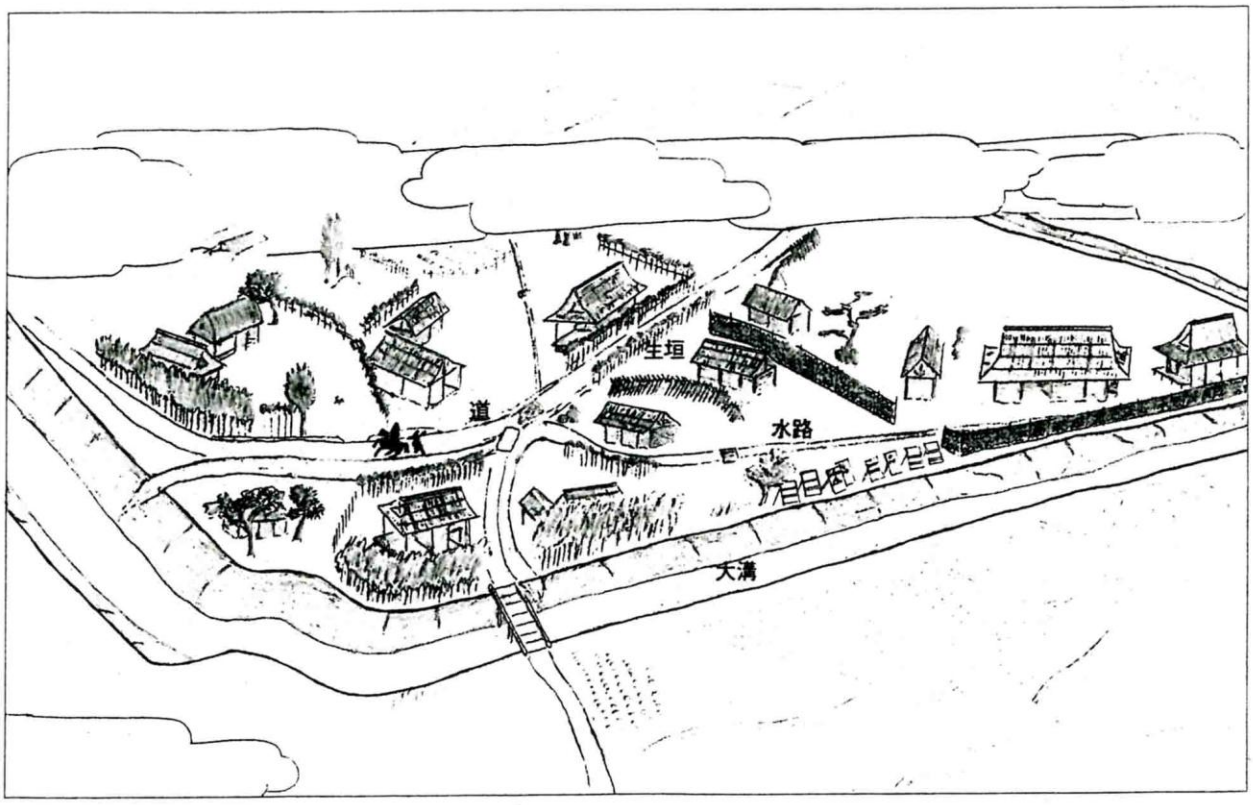


潤番田遺跡遺構配置図（1／200）

潤大山遺跡
道路状遺構
東風小学校
中世大溝
潤古屋敷遺跡
中世大溝
潤一本木公園
潤公園
潤番田遺跡
瑠璃幼稚
潤保
潤



怡土庄関係地名図（「講座　日本荘園史10」より）



潤古屋敷遺跡想像図

潤古屋敷遺跡１区全景（南側より）

潤古屋敷遺跡中世大溝全景（真上より）